



大樹のこころ

夏休み中の出来事

長い夏休みが終わり、今日から2学期のスタートです。各家庭でも、夏休みには様々な思い出ができたことでしょう。子供たちが登校しないなつやすみ長期休業ですが、今年の夏休みは、例年とは少し様相が違いました。その様子についてご紹介します。

何と言っても校舎改修工事が大きな出来事でした。子供たちが不在となる夏休み。施工業者としても「かき入れ時」です。学期中にはできない大胆な工事が行われました。主に行われたのが通級教室やたんぼぼ教室、給食の配膳室などの特別教室や紙倉庫や社会科資料室などの小部屋、そして昇降口です。学期中には、子供の安全性を踏まえて、工事現場には壁が作られており、作業現場を目にすることはありませんでした。しかし夏休み中は、オープンです。むき出しになった工事現場を見て、改めて校舎改修のすごさを実感しました。まさに学校解体。校舎内だけでなく、運動場も掘られ電気ケーブルや排水管の工事も行われていました。施工業者はさすがプロです。「あんなにも大胆に穴を掘って修復できるのか」と思うこともしばしばでしたが、見事に復旧していきます。夏休み中は、とても学校とは思えないような状況でしたが、現時点では子供たちが生活する上では困り感がないようにまでなりました。2学期に行われるのは、中校舎西側に位置する6教室です。改修工事もうやく終わりが見えてきています。



もう一つ印象に残ったのが「巨大地震臨時情報注意」の発令です。宮崎県で起こった地震が、南海トラフ地震の誘発を招く恐れがあると判断され、巨大地震注意が出されました。遠い地域で起きた地震であり、岡崎市では揺れも観測されなかったため、どこか他人事のような気がしていました。ところが岡崎市が出している災害対応では、「巨大地震注意」が発令された場合「子供の登校は控える」「第一次非常配備を行う」となっていました。非常配備については、自分と教頭先生、さらに3名の教員で行いました。子供たちの登校については、夏休み期間中であり特段の対応をする必要もありませんでした。中学校では夏休みにも部活動の練習などがあり、「登校を控える」とメール配信で行うが必要であったと聞いています。学期中であつたらどうなったことかと思ひ、南海トラフ地震における防災について学び直しをする機会となりました。岡崎市も今回の巨大地震注意を受けて、対応の在り方について再検討し「当面の間、巨大地震注意が発令されても**通常通りの教育活動を行う**」という連絡を受けています。さらに検討が重ねられるとのことで、決まり次第、保護者の皆様にお知らせしていきたいと思っています。

さあ、今日からは2学期の始まりです。防災意識や工事における安全対策への意識を高めながら、充実した学校生活を送れるようにしていきます。今学期もよろしくお願ひします。